

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ツインズリハビリ2nd児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45人	(回答者数) 34人
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 12人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月21日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが療育を楽しみと感じて、来所することができている。	年間の支援プログラムを基に、ねらいをきちんと定めた上で子供たちが「楽しい」と感じる療育の提供を心がけている。また、他事業所と同じにならないよう指導員の独創性を活かしたプログラムを提供している。	今後は「性教育」に着目し、他者との関わり、身体の成長等を楽しんで学ぶ療育を提供していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族同士の交流会、家族向けの研修会等の開催ができていない。	開所してまだ一年経過した状況下で、事業所の安定を図るために進んでおり、まだ対外的な研修会等への提案ができていなかった。	新年度を迎え、家族への研修会開催を積極的に進めていき、保護者同士が交流できる場を構築していく。
2	面談の内容が、他者に聞こえてしまう環境であった。	療育、保護者との面談のお時間を頂く中、同時間に2組以上の面談を実施すると、話やすい雰囲気、場としては不十分であった。〈他者の話し声や、落ち着いて話せる雰囲気とならなかった。〉	R8.4月からレイアウトを変更し、相談しやすい環境を整える。
3			